|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  |  | **チェック項目** | **はい** | **どちらとも いえない** | **いいえ** | **回答なし** | **改善目標・工夫している点** |
| 環境・体制整備 | 1 | 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか | 96% | 4% | 0% |  | 2月より新施設を2つ開所しました。機能分化することが開設の趣旨で、学習・進路支援、コミュニケーション・心のケア支援、運動・認知機能への支援と最大３施設で支援することが可能です。これまで以上に個別化することで活動等のスペースが十分に確保できています。 |
| 2 | 職員の配置数や専門性は適切であるか | 84% | 16% | 0% |  | 機能分化し分野を絞ることでスタッフの専門分野をつくり、専門性を高めるために研修進度表を作成し進めています。 |
| 3 | 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか | 60% | 38% | ２% |  | 現在のところ肢体不自由児に関しては利用者がいません。今後、受け入れを検討する際には施設の環境整備を進めてまいります。 |
| 適切な支援の提供 | 4 | 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画\*1が作成されているか | ９7% | 3% | ０％ |  | 日々の個人SOAP（お子様の客観的状況を把握し処方箋を作るツール）を活用しお子様のアセスメントを適切に行い、お子様と保護者様のニーズや課題を客観的に分析した上で計画書を作成しています。機能分化したことで更に専門的な支援を提供させていただきます。 |
| 5 | 活動プログラム\*2が固定化しないよう工夫されているか | 95% | 5% | ０% |  | お子様の特性にあったプログラムを作成しています。お子様の好みや認知レベルによってスタッフ間で検討し修正しています。今後もお子様に楽しく通所していただけるよう支援させていただきます。 |
| 6 | 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか | 32% | 44% | 22％ | ２％ | お子様や保護者様の希望も踏まえて交流会（アナログゲーム大会）を検討しています。 |
| 保護者への説明等 | 7 | 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか | 95% | 5% | 0% |  | 支援終了時に時間を設け、その日のメニューや様子などを説明させていただいています。利用者負担等に関しては、お手紙やトム・ソーヤ通信を通じてその都度説明をさせていただいています。 |
| 8 | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか | 92% | 8% | 0% |  | 支援終了時に保護者様とお話する時間を設けています。利用時のお子様の様子や家での様子をお話しさせていただいています。今後もお子様・保護者様が安心してご利用いただけるよう支援させていただきます。 |
| 9 | 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか | 8４％ | 16% | 0% |  | 保護者様との面談は随時受付しています。学校でのトラブルの訴えがある場合には詳細な聞き取りを行い、いじめ解決プログラムに沿って学校へ行き関係者とお話をして共同で問題解決に努めています。 |
| 10 | 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか | 43% | 41% | 16% |  | これまでイベントを通じて父母会を開催していました。今後は更に頻度を上げ、保護者様同士の連携が図れるようにと考えています。 |
| 11 | 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか | 78% | 20% | 0% | ２％ | 現在、苦情等についてはスタッフが個人で抱え込むのではなく社内SNS等を通じてスタッフ全員の問題とすることを共有しています。 |
| 12 | 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達 のための配慮がなされているか | 84% | 14% | 0% | ２％ | 複数施設の併用が可能になったことで、お子様一人一人とお話が出来る時間が持てるようになりました。帰宅時の保護者様とのミニミニ面談を大事にしてお子様・保護者様とコミュニケーションをとっていきたいと考えています。 |
| 13 | 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか | 68% | 27% | 5% |  | ホームページやトム・ソーヤ通信を通じて活動概要や目的・情報等を発信しています。今後もホームページのリニューアル等で情報が発信できるようにしていきます。 |
| 14 | 個人情報に十分注意しているか | 90% | 8% | 2% |  | 個人情報保護につきましては定期的研修と日々のチェックを心掛けたいと思います。 |
| 非常時等の対応 | 15 | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか | 8２% | 16% | 0% | ２％ | 監視カメラ設置・自動点灯設置・紙タオル使用・手洗い・マスク装着・教室内消毒・換気の徹底（新型コロナウイルス感染予防カードを作成し利用時に持参）しています。 |
| 16 | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか | 57% | 41% | 2% |  | 避難訓練を実施し避難経路・避難場所の確認をしています。保護者様との体制の共有に努めたいと思います。 |
| 満足度 | 17 | 子どもは通所を楽しみにしているか | 76% | 22% | 2% |  | ボルダリング、トランポリン、お子様の状況にあった育脳アナログゲーム、箱庭づくり、ソーシャルスキルトレーニングなど楽しく能力開発できる条件が整備されてきました。 |
| 18 | 事業所の支援に満足しているか | 89% | 11% | 0% |  | 3施設への機能分化を活かし、お子様の将来に向けて好きなこと伸ばし支援、安心できる居場所づくり、各種能力・学習支援を通じてお子様と保護者様の満足度を向上させることが出来ると考えています。 |
|  |  |  |  |  |  | |  |

**保護者等向け**

**放課後等デイサービス評価表**

\*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

\*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障害特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。　　　　　　　　　　　　　　　　　　R２　３　２７